



NO.1399

1月22日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三・四四五八
F 四三・四四五七

市民の声が市政を動かす！

声の宣伝に奮闘する松浦敏司、村椿敏章市議

共産党の宣伝は、今年も1月1日から始まりまし。岸田政権の大軍拡、暮らし破壊の政治から市民の暮らしを守る自治体の役割はいよいよ重要です。

今年統一地方選挙の年、松浦敏司市議は訴えます。「国の悪政から、市民の命と暮らしを守るためには、ぶれずに市民の声を届け、粘り強く市民のみなさんと力を合わせる共産党の議席が必要です。共産党の2つの議席を死守するため、皆さんのご支援をよろしく願います」と訴えに力が入ります。共産党が街頭宣伝に力を入れるのは、多くの市民に共産党の考えを知ってほしいから、また時々の問題に対する提案をお知らせするためです。

村椿敏章市議は「大軍拡では平和はつくることができません。9条をいかした話し

「国会かけある記」 2023年1月16日 大軍拡反対の国民的大運動に

参議院議員 紙 智子



年明けから、農民連、北商連、原発連、高教組、道教組、自由法曹団、新日本

婦人の会、道生連、道労連、戦争させない市民の風・北海道のみなさんと意見交換。改めて各団体の活動と役割の大きさを痛感させられました。

農民連では特に酪農家の離農が相次いでいること、この現実を打開すべく1月の全国会議に向けた取り組みが語られま



毎週土曜日の宣伝を行う
松浦敏司議員（右）と
村椿敏章議員（左）

合いの外交こそ必要ではないでしょうか。昨秋の市長選が実現し、粘り強い市民運動と共産党の議会での提案、そしてみなさんが声を上げたことで、『学校給食の無償化』が実現しました。声を上げれば政治は変わることが実感できました。政治はみなさんのすぐそばにあります。声を上げ続けようじゃありませんか。私も全力で頑張ります」と訴えています。

した。原発連は岸田政権の原発政策の大転換を批判、泊原発を再稼働させない運動、核のゴミ問題にふれて、原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換の取り組みが出されました。市民の風・北海道とは初の懇談となりました。「新しい戦前にさせない」「軍拡でなく、戦争を起こさせない方法について国民にわかってもらおうことが大事」と。各団体から「わかりやすい押し出しで国民的 な大運動に」とお互いに決意を固め誓い合いました。



阪神淡路大震災から28年が経ちました。あの日は、し

んぶん赤旗の配達中でしたが、ラジオでは緊急のニュースがあり「関西方面でかなり大きな地震が発生したようです」との一報が入りました。すると次々と続報が入り、震源は兵庫県南部・淡路島北部という言い方をしていました。その後、阪神淡路大地震と言われるようになったと記憶しています。

5日後には、日本共産党網走市委員会の「新春の集い」の日で、市議選で3人目の候補として発表になる日でしたので、「震災募金」も集めて元気の出る「新春の集い」にしなければならぬと、みなさんが頑張って成功させました。その勢いで何とか3議席（大江701票、松浦697票、鈴木669票）を僅差で確保することができたことを鮮明に覚えています。当時41歳の私は最年少でしたが、あれから28年が経ち69歳になりました。今では最高齢から3番目にいますから、それなりの年齢になったのだと感じながら頑張る所存です。



阪神淡路大震災から28年が経ちました。その時、私は入院中でした。術後

映し出す倒れた高速道路、大規模な火災の様子は現実とは思えません。手術は成功し、後遺症もなくになりました。後から病院の先生に聞くと、発見が遅れていたら亡くなっていたと聞きました。

当時、倒壊家屋の支援金はあまりにも少なく、日本共産党は見直しを何度も訴えてきた結果、拡充が実現しています。十分とはいえませんが、地震国日本の震災を止めることはできませんが、被害を少なくすることはできます。軍事拡大で平和を脅かすのではなく、国民の命を守るために防災の予算を増やすべきです。声をあげて実現させることが大事であり、私も一度失った命だと思っ、その先頭に立つて頑張ります。

流水

私の味噌づくりは今年で32年目になります。初めて作ったのは夫の実家です。彼の家は美幌で米と畑作農家をしていま

た。大豆も麹も自家製です。倉庫に薪ストーブを準備して大豆が柔らかくなるまで大鍋で炊きます。柔らかく炊けた大豆をつぶして塩と麹と煮汁をまぜて、樽に仕込みます。一年間熟成させた樽を開ける時はワクワクします。ご飯につけて食べるとこれが格別です。本当に美味しいのです。

▼私達の食生活は農業、畜産、水産業の方達なしでは成り立ちません。我が家に毎週届く農民連の新聞が楽しみです。農業、酪農のことはもちろん原発問題や食の安全、生産者や消費者との交流のことなど、多岐にわたり読み応えがあります。今週の記事には「食料・農業危機が始まっていく今、人の命をあやめる武器を爆買する大軍拡をやめて、農産物を増産し、国民を飢えさせない政治を」と書いてありました。農民連の方たちの強い志を嬉しく思い感謝します。▼大豆と米と塩での昔からの知恵を活かした味噌づくりをこれからも続け、若い人達に伝えていきます。食料を無駄にすることなく暮らすこと直ちゃん

